

宇部市文化振興まちづくり審議会 会議概要

日 時：平成 29 年(2017 年)11 月 15 日(水) 15:00～16:45

場 所：常盤ふれあいセンター 1 階 多目的ホール

ときわミュージアム UBE ビエンナーレ彫刻の丘

出席者：委員 7 人(欠席 3 人)

事務局：藤崎総合政策部長

青山文化・スポーツ振興課長、荒武文化・スポーツ振興課長補佐

高下文化・スポーツ振興課長補佐

酒井文化振興係長

議事

(1) 「文化振興ビジョン」の進捗状況について

文化振興ビジョン(第一次)事業評価及び第二次ビジョンの進捗状況を事務局より説明。

(委員) 全国小・中学生箏曲コンクールについては、今年から 1 日で 2 部門(小学生の部・中学生の部)を開催し、前日の邦楽ミニ演奏会とも合わせて充分盛り上がったと思います。

午前 10 時から午後 4 時まで、演奏・審査が続き、これ以上参加者数を増やすことも難しいと思いますが、箏の演奏会自体が全国的にも珍しい催しですので、続けていただきたいと思います。

(事務局) コンクールは今年から 2 部門を 1 日に集約し、全国から前回以上の参加者をお迎えすることができました。今回の実施状況を踏まえ、次回のコンクールがより良いものとなるよう、引き続き見直しを行っていきたいと考えています。

(会長) 各事業の「事業の方向性」について、「廃止」というものがありますが、事業が終了したから廃止するのであり、事業内容が達成目標に程遠いので廃止することではないと理解してよ

ろしいでしょうか。

(事務局) そのとおりです。

(会長) 数値目標を出すと、どうしても数字が出てしまうから、数字で判断してしまうところがあるのですが、先ほどの箏曲コンクールの例でいえば、仮に観覧者数が少ない場合でも、地元の伝統文化という意味で続ける必要はあると思います。

事業の本質・方法論・地域の伝統など、様々な観点から議論したいと考えます。

(2)「第27回UBEビエンナーレ×まちじゅうアートフェスタ 2017」について

第27回UBEビエンナーレ×まちじゅうアートフェスタ 2017 について概要を事務局より説明。

(会長) 委員のみなさんも、実際に各会場に足を運ばれたことと思いますが、何かご意見や感想があればお願いします。

(委員) 「うべの里アートフェスタ」は人出も多く、地元の年配の方たちも参加して盛り上がり、大変良い試みと思っています。

今後は、「アートディレクター」のような人材を入れて、デザインを含め、「まちじゅうアートフェスタ」全体を総合的に管理していくなど、イベントの統一感をもっと持たせるとよいのではないかと思います。

中身自体はすごく充実していますし、徐々に色々なコンテンツも増えて楽しめるフェスタになってきたと思います。

(会長) いろいろなイベントが盛りだくさんですから、統一感を持たせるのはなかなか難しいとは思いますが。

しかし、ごく短期間で準備して2015年に初めて開催した「まちじゅうアートフェスタ」の反省点を踏まえて、各会場のイベントもできるだけ重ならないようになっているなど改善も見られ

ました。

(委員) 彫刻のガイドをお願いするため、人が少ないと思われる平日にビエンナーレに行ったのですが、子供たちが会場内でお弁当を食べたり、踊ったり、色々なことをやっている感じで、それはとても活気がある感じで良かったと思います。

(会長) リニューアルした植物園、動物園の効果もあるのでしょうかね。

(委員) ビエンナーレは、本展だけでなく、前年の企画段階の模型審査、審査が完了して制作に移る過程、完成していく過程、その過程毎にもっと観覧者を集められたらと思います。

入選作品だけを見てもらうのではなく、まず前年度の模型審査の段階の状態から、搬入、制作、そういった過程をもっとPRしてはどうかと思います。

(委員) 模型の展覧会は、300点以上を湖水ホールで展示しており、壮観な光景で、かなり見応えがあります。

模型審査の様子もネットなどでオープンになっているので、もっとPRしていったら良いと思います。

(委員) 模型展は、本展とは違う面白さがあります。

(会長) 模型展は一か所で全部見ることができて良いですね。
今後、市民がもっと模型展に注目するようにPRしましょう。

(委員) 実物大作品の制作過程においても、学芸員の方は、「作成の過程を見てもらいたい」と話されていました。

作品がどのように設置されていくのかというところを見ていただくのも、一つのPRの方法だと思います。

(委員) 作家から制作途中の写真や動画を見せていただいたのですが、作家本人が撮っているもので大変興味深いです。

海外の作家など、「このような場所で制作していくのか」という驚きもあります。

これだけ長年の実績があるビエンナーレを、これからも市内外に広めようとしたとき、彫刻の学芸員は3人おられますが、ビエンナーレの業務以外に、彫刻教育にも力を入れて、市内の小学生にガイドをしたり、小学校での出前授業や、その他の対応に大変多忙な状況ですので、増員を検討されても良いのではないかと思います。

(会長) まちじゅうアートフェスタの実行委員会の時に、「第27回UBEビエンナーレ×まちじゅうアートフェスタ2017」というタイトルは長いので、「ビエンナーレ」という言葉を将来的にはどうしたらいいのか問題提起しました。

「UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)」となっていますが、例えば「シンガポールビエンナーレ」というと、彫刻だけではなく、文化芸術の様々なジャンルがあります。

宇部のビエンナーレは彫刻ですが、2015年から「まちじゅうアートフェスタ」と称し、開催場所・事業内容を拡大して行われていますが、名前だけみても一体感に欠けていると思います。

今後は、まちなかアートフェスタ・うべの里アートフェスタ・芸術祭等の「まちじゅうアートフェスタ」を「ビエンナーレ」に統合して事業を進めていったほうが良いのではないかと思います。

もちろん、ビエンナーレには彫刻のビエンナーレという歴史があるから、それを守りたいという気持ちがあるのは理解しています。

美術教育の中で言えば、彫刻という概念は非常に狭いです。

まちじゅうが美術館というような、つまり都市計画や街路・空間のデザインの事も考えて、彫刻が彫刻の範囲を超えて、都市の一体感みたいなものをつくりだし、都市デザイン全体が動き出していくようになれば良いと思います。

彫刻家の人数自体は少ないので、彫刻を元にして都市計画や街のデザインや空間設計などにつながっていけば、人材活用にも都

市のパフォーマンス的にも良いと思っています。

(委員) そのように他の領域につなげて広げて行く必要がありますし、そうでないと彫刻事業をしている意味がないと思います。

先ほどの人手が足りないというのもそうですが、例えば、お店が開店する時に、予算が5万円しかないから5万円で看板だけ付けました、それでお客さんが来ないで、お店が開店しました。

そうではなく、せっかくお店を開店するのだから、そこは50万円かけてでも、もっと宣伝して収益を上げるようにしなければいけないと思います。

彫刻も都市全体のデザインへと、もっと広げないといけないと思いますが、現状維持で精一杯なところが見えます。ただ、現状維持するのにも大きなお金がかかっているので、あと1割とか2割とかプラスアルファすれば、その部分がどんどん実行・実現できていくと思うのです。

そこまで手が出せないというところは感じますが、絶対そこはやっていくべきだと思います。

(会長) 見に来た人が増えて、経済効果があるというようなことは、なかなか簡単に数字としては出せないのですが、北部地区で「うべの里アートフェスタ」を開催し、少し活気が出て来るとか、そこに住んでいる人でさえも知らなかった発見があるとか、そういったことが大切です。

(委員) 経済効果は、ビエンナーレ単体では非常に厳しいと思いますが、市民にとってのビエンナーレがどういうものなのか、例えば「彫刻の街だから愛着がわきます」とか、そういう市民の意見が増えていくことのも効果とする必要があると思います。

5年前、私は彫刻にはあまり関心がなかったのですが、その頃よりは彫刻に愛着を持って、宇部市の自慢の一つとして考える人が増えていると思います。

徐々に割合が増えていくのならば、もっといろいろ頑張っやらないといけないと思いますし、様々な資源を投入するべきだと

思います。

最終的には、市民が、彫刻のまちづくりをやって良かったと思ってもらえるようになればいいと思います。

(副会長) 先ほどのビエンナーレの模型展も、私どもの宿泊施設では2年連続で模型をお借りして置いていますが、お客様の反応はすごく良いです。

去年は3点、今年は2点設置しています。それと一緒に展示パネルや顔はめパネルなどもありますので、ロビーはすごく賑わっています。

「まちじゅうアートフェスタ」などで、市内の各施設・店舗で模型を設置して、スタンプラリーなどとセットにすると面白いし、経済効果もあるのではないのでしょうか。

作家の許可を得て、模型を安価につくって、そこまでしっかりしたものじゃなくてもいいので、あちこちに置ければ、立体的なものなので、市民や観光客の興味を引くと思います。

(委員) 模型を公共施設だけでなく市内の病院など、いろいろな所に置かせてもらえれば、また広がりが出ていいと思います。

結局、まずは市民が動くかどうかだと思うので、みんながやる気になる仕掛けとしては、そのような取組は有効だと思います。

経済効果などは、それからという気もします。

年々知名度は上がっていると思うので、そうやって質を上げていくのもひとつの方法だと思います。

(会長) それでは、本日は様々なご意見をいただき、ありがとうございました。

(3) その他

議事終了後、UBEビエンナーレ会場を視察し、解散した。

以上